

かわかんネット

発行：一般社団法人 東北河川管理技術研究会事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 3F

E-mail: triver@ae.auone-net.jp Tel: 022-398-8831 Fax: 022-398-8832

年頭にあたって

東北河川管理技術研究会

会長 吉尾 進

謹 賀 新 年

日本大震災発生からまもなく6年目を迎え、復興に向けて着実に事業が進められております。

河川、海岸の復旧工事については、今年の3月末までには直轄河川の鳴瀬川及び直轄海岸の堤防が全て完成する予定となっているそうです。

昨年を振り返りますとM6以上を記録する地震が4回発生（内直下型地震3回、熊本地震、鳥取県中部、茨城県北部）しました。4月の熊本地震では震度7を2回記録し、多くの犠牲者を出すとともに、住家全壊8,364戸、熊本城の石垣等の崩落や阿蘇大橋（国道325号）の崩落等大災害となりました。

台風は平年並みの25個発生でしたが、統計開始以降記録的には残る年でした。ひと月の日本への上陸数4個（最多タイ）、北海道に年間3個や東北地方太平洋側に上陸は初めて、台風1号発生時期の遅さ（7月3日）・日本への上陸の多さ（6個）共に2番目となりました。

昨年は東北地方の直轄河川においては、大きな被害を及ぼす出水等はありませんでしたが、岩手県大船渡付近に上陸した台風10号による局地的豪雨により、東北地方の県管理河川12水系20河川で浸水被害が発生しました。特に岩手県の沿岸部に位置する県管理河川では、死者20名、不明者3名、住家の全壊472棟、床上・床下浸水1,466棟など甚大な被害が発生しました。

このように、昨年8月北海道・東北地方を襲った一連の台風での甚大な被害や気候変動さらに人口の減少化等を踏まえ、『中小河川等における水防災意識社会の再構築のあり方について』、国土交通大臣に社会資本整備審議会から今年1月11日答申がありました。基本方針として、『水害リスク情報等を地域と共有することにより、要配慮者利用施設等を含めて命を守るため確実な避難を実現』、『治水対策の重点化・集中化を進めるとともに、既存ストックの活用等、効率的・効果的な事業推進し、被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る』等の答申がなされております。

当会も7年目を迎えます。当会には「堤防・河道・樋門樋管・ダム管理」の4分科会があります。本年も、4分科会員の経験と知識が加味された総合的技術力を活用し、河川管理の充実に向けた提言が出来ることを願っております。

講習会

河川管理・ダム管理・流量観測講習会を開催しました。

河川管理・流量観測講習会については、これまでの（一社）全国土木施工管理技士連合会の継続学習制度（CPDS）と今回より更に（一財）河川技術者教育振興機構の継続学習制度（CPD）の認定を受け受講者には15単位が付与されました。

I. 平成28年度 河川管理講習会

1. 日時 : 平成28年11月15日（火）13時30分～16時30分
2. 場所 : （一社）東北地域づくり協会 3階会議室
3. 受講者 : 79名
4. 講習内容
 - 1) 講話
 - 2) 講習
 - (1) 堤防点検手法について
 - (2) 河川管理の実務（堤防）について
 - (3) 質疑応答



台風10号・11号 台風番号と発生日時の逆転現象

台風10号は当初8月19日21時に八丈島の東（北緯33度5分）で台風となったと発表されたが、事後解析の結果8月21日21時四国沖（北緯29度10分）で台風と修正されたため、台風11号（8月20日9時発生）と**台風番号と発生日時の逆転現象**が生じました。（逆転現象は平成21年の7号と8号のケース以来7年ぶり）。また、北緯30度以上の海域で発生した台風としては最も長寿の台風であるとされたが、前述のとおり、台風の期間が丸2日間短くなった為従来の記録（昭和45年台風12号9日と6時間）を破ることは出来なかった。そもそも北緯30度以上の海域で発生した台風ではなかった。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア』

Ⅱ. 平成 28 年度 ダム管理講習会

1. 日 時 : 平成 28 年 11 月 26 日 (土) 13 時～16 時
2. 場 所 : (一社) 東北地域づくり協会 3 階会議室
3. 受講者 : 64 名
4. 講習内容
 - 1) ダム管理に関する最近の話題
 - 2) 月山ダムの管理について
 - 3) ダム管理事例 (特別防災操作等) について
 - 4) 質疑応答



Ⅲ. 平成 28 年度 流量観測講習会

1. 日 時 : 平成 28 年 12 月 10 日 (土) 13 時～16 時
2. 場 所 : (一社) 東北地域づくり協会 3 階会議室
4. 受講者 : 35 名
5. 講習内容
 - 1) 河川の維持管理に関する最近の話題
 - 2) 水防災意識社会の再構築に向けて
 - 3) 流量観測の留意点について
 - 4) 流量観測の高度化について
 - 5) 質疑応答



台風10号における小本川（岩手県岩泉町）の出水

東北地方太平洋側に観測史上初めて上陸した台風10号により、30日夕方から夜のはじめ頃にかけて局地的に猛烈な雨を観測し、岩手県岩泉町の小本川と支川清水川において、溢水、越水、決壊により広範囲で浸水が発生し、浸水面積339ha、床上浸水723戸、床下浸水121戸の甚大な被害が発生するとともに、小本川沿川の高齢者福祉施設では9名の尊い命が奪われました。

この台風による総降水量分布を見ると北上山地の太平洋側の宮古市から久慈市にかけて200mmを越す雨が降り、特に下戸鎖雨量観測所（久慈市）279mm、岩泉雨量観測所（岩泉町）248mm、1時間雨量では両観測所とも既往最大を記録しました。

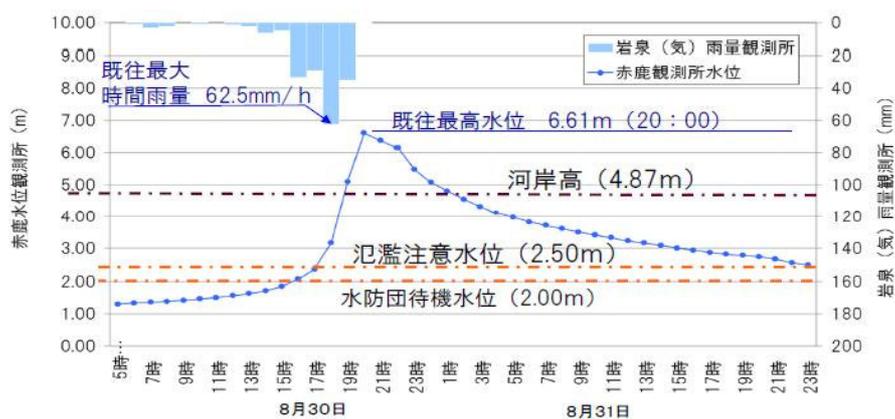


図
赤鹿水位観測所と
岩泉雨量観測所（気）



写真
岩泉町乙茂地区浸水被害状況

出典
図及び写真は「小本川改修計画の概要（岩泉～乙茂地区）」
岩手県県土整備部河川課

台風10号における TEC-FORCE 等の活動

この台風10号による被災時に自治体支援・情報収集のため TEC-FORCE 延べ2,164人、リエゾン延べ280人が派遣されました。

TEC-FORCE は各地方整備局（東北・関東・北陸・中部・近畿）より被災状況調査のため岩手県沿岸部久慈市他9市町村で活動するとともに、道路等の寸断による孤立集落の要因を特別任務として調査。

リエゾンは東北地方整備局より2県（宮城・岩手）、10市（久慈市他）、4町（岩泉町他）、3村（普代村他）で活動。

編集後記

今年は、丁酉（ひのととり）、酉年生まれの方は、洞察力があり、多くの才能に恵まれている。頭の回転が速く、几帳面で集中力や持続力があり、凝り性な反面、こだわりが強いので理想やプライドが高く、妥協が苦手だそうです。今年もよろしくお願いたします。（編集 事務局）